

令和3年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム －震災記録を残す、伝える、活かす－

日時：令和4年1月10日（月曜・祝日）午後1時～4時（開場：12時30分）

会場：東北大学災害科学国際研究所 1F 多目的ホール
およびオンライン配信（ハイブリッド開催） 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

定員：会場参加80名、オンライン参加200名
（先着申し込み順、要事前登録）※オンラインLIVE配信（Zoom使用）

参加
無料

プログラム（敬称略）

事例報告

“体験を同期する”というアーカイブの使い方

3.11オモイデアーカイブ代表 佐藤 正実

伝承活動から見たアーカイブ活用の現状と課題

3.11メモリアルネットワーク代表（宮城教育大学特任教授） 武田 真一

震災の記憶をどう受け継ぐか－2014年神城断層地震震災アーカイブの取組み

信州大学学術研究院教育学系・教授 廣内 大助

みんなで作り、活用するプラットフォーム「災害アーカイブぎふ」プロジェクト

岐阜大学流域圏科学研究センター准教授 小山 真紀

進捗報告

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）の取組について

国立国会図書館電子情報部主任司書 中川 透

震災アーカイブの利活用について

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

パネルディスカッション

震災記録を残す、伝える、活かす－震災アーカイブの利活用促進に向けて－

（進行）柴山 明寛（パネリスト）登壇者6名

申込・参加方法

「みちのく震録伝」のシンポジウム案内にある「参加申込みフォーム」からお申込みください。定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」（右のQRコードからもアクセスできます）

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>



問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野

電話 022-752-2099 メールアドレス archiveforum@irides.tohoku.ac.jp



主催
東北大学災害科学国際研究所・国立国会図書館